

おでかけひろばまーぶるより 0,1,2,3 歳向け絵本のご紹介♪



読書の秋とも言われるこの季節、親子で色々な絵本見たり、図書館へ出かけたり、本に親しむ機会をつくってみてはいかがでしょうか？

どれも大人と一緒に読むことを前提に選んでいます。1人で眺められる、読めるようになって、肌を触れ合って読む時間を1日のどこかにつくって欲しいと願っています。

0 歳

★『ぽぽんぴぽんぽん』

文：松竹いね子 絵：ささめやゆき

出版社：福音館書店

★『びよよ〜ん』

作：村田エミコ 出版社：福音館書店

1 歳

★『こりやまてまて』

作：中脇初枝 絵：酒井駒子

出版社：福音館書店

★『もこもこもこ』

作：谷川俊太郎 絵：元永定正 出版社：文研出版

絵を読む絵本を選びました。言葉の音を感じたり、肌をくっつけて安全と安心を感じたり、ストーリーを楽しむ前にたっぷり絵本を読む時間を楽しんで欲しいと思います。

2 歳

★『みんなのかお』

作：とだきょうこ 写真：さとうあきら

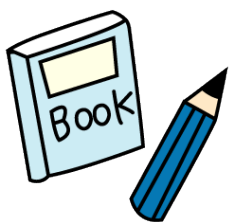
出版社：福音館書店

★『おかあさんがおかあさんになった日』

作・絵：長野ヒデ子 出版社：童心社



写真絵本はとても興味を持ってくれます。『みんなのかお』はもう少し大きい人たち用なのですが、十分に楽しめます。一人ひとり違うんだという面白さが伝わるようです。ただし紙の質が大きい人向けなので取扱は大人と一緒にがいいですね。



3 歳

★『しあわせのバケツ』

著：キャロル・マッククラウド 訳：デビット・メッシング

出版社：TO ブックス

★『つまんないつまんない』

作：ヨシタケシンスケ 出版社：白泉社

少し哲学的な要素がありますが、人の土台をつくるこの時期に大人と対話をしながら絵本から触れていくと良いのかなと思って勧めています。